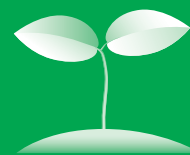


育てよう

鏡野のよい子シリーズ



ふるさとを愛する気持ち

「おはよう。」「おはようござい
ます。」朝靄（あさもや）の中
を子ども達が登校してきます。
午前八時、富小学校のいつもの
光景です。言われてからするこ
との多かった挨拶も、今年は、
だいたい自分達から出来るよう
になりました。自分から声を出す
ことは、子ども達自身の気持ち
を明るくし、学級や学校の雰囲気
を明るくします。友達同士で
笑顔を支えあうことができれば、
けんかやいじめも少なくなるこ
とでしょう。前向きな気持ちをも
って生活することで、学習にも意
欲的に取り組むことができるこ
とになります。

富小学校では、今年度、学校
教育目標に「ふるさとを愛する」
という言葉が付け加えられまし
た。地域の人のつながりを大
切にしなが、地域の自然や歴
史を学習に活かし、地域を愛す
る児童を育成していくという意
味が含まれています。

富地域には、うつそうと茂った
杉木立に囲まれた布施神社、鍛
冶屋谷たたら遺跡、清流の美し
い白賀溪谷、かたくり自生地、
ひらめの養殖場やのど原キャン

プ場、天空の湯など伝統のある
建物や遺跡、豊かな自然、それ
を活用した施設がたくさんあり
ます。子ども達を取り巻く社会
環境がめまぐるしく変わる中で
も、富地域には、子ども達をゆ
つたりと静かに見守る昔と変わ
らない豊かな自然や地域の環境
があります。

人間は、経済的な豊かさや生
活の便利さを追いかけてしまし
た。今日世界がグローバル化す
中で効率性は優先され、競争は更
に激化しています。それは、社
会の価値観を変化させ、私達自
身の価値観をも変化させていま
す。

小学四年生の国語の教科書に
「ポレポレ」という物語がありま
す。クラスの副クラス委員で何で
も早く出来る女の子（いずみ）が、
片付けが遅い友達に「早くして
よ。」といつも厳しく注意したた
めに、友達から仕返しをされま
す。女の子は、高い塔に置き去
りにされ、降りられなくなつてし
まいます。ケニヤからやって来た
転校生のピーターとよく（友樹）
が、その行方不明になつたとい
う物語です。そのお話の中で、
ピーターがいずみに諭します。「ポ

レポレ、たいせつです。」と。ポ
レとは、スワヒリ語で、ゆつと
りという意味だそうです。ピー
ターがこのとき言ったポレポレに
は、「自分が気持ちにゆとりをも
たないと人の気持ちには思いやるこ
とはできない。ゆつたりとした気
持ちは大切だ。そして、他人の
ことを思いやろうよ。」という意
味が込められています。

社会の価値観が様々に変化し
ても変わらず大切なことがあります。
それは、豊かな人間性は、
人と人とのつながりの中で、育ま
れるということです。地域の自然、
地域の人々とのつながり、家庭、
学校。その中で、子ども達は、
心豊かにたくましく育つていくだ
ろうと思います。朝の挨拶を交
わすとき、優しい瞳の輝きを見
せる子ども達がいいます。人と人
との確かなつながりを感じます。
「ふるさと」の歌詞「こころざ
しをはたしていつの日にか帰ら
ん。」のように、故郷を遠く離れ
ても、自分の育ったふるさとに感
謝し、ふるさとを懐かしむ気持
ちをもった社会人に育ってほしい
と願っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

富小学校 竹内 浩二



第17回

津山スポーツ賞

表彰式

公益財団法人津山スポーツ振興
財団主催の、第17回津山スポー
ツ賞表彰式が平成23年7月16日（土）
に津山国際ホテルで開催され、鏡
野町在住の西山金男さんと中尾彰
成さんが功労賞を受賞されました。